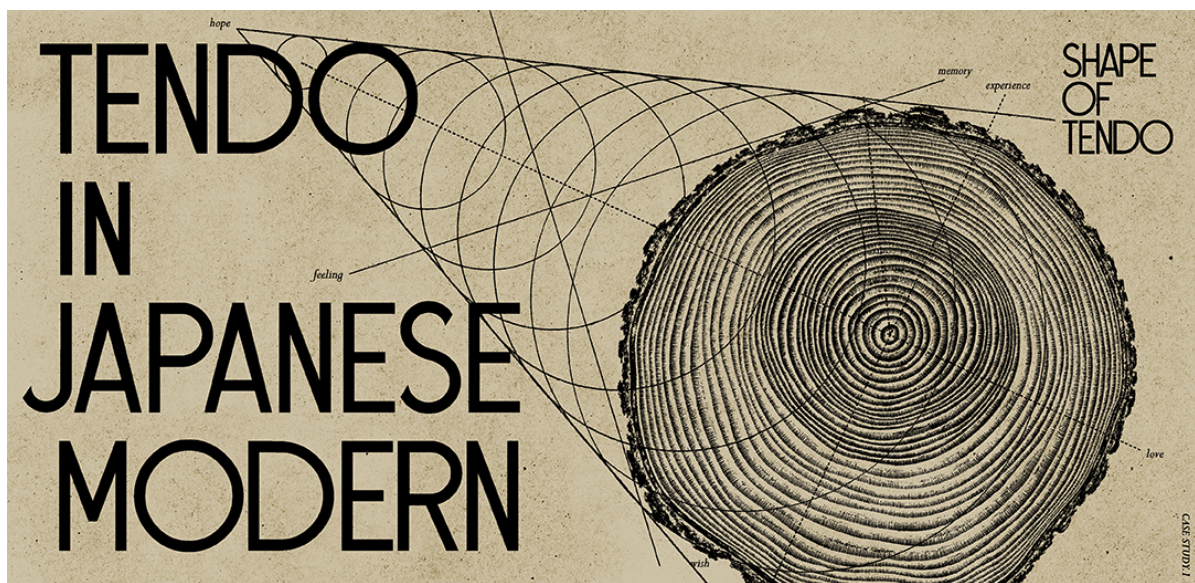


ジャパニーズモダンをテーマにした展示・販売企画

「TENDO IN JAPANESE MODERN」を伊勢丹新宿店 本館5 階 センターパークで開催。
サカナクション・山口一郎氏の『YIスツール』もカラーリングを“黒”に変えて再登場します。



株式会社天童木工（本社：山形県天童市）は、2025 年 2 月 19 日（水）～ 25 日（火）の 7 日間、伊勢丹新宿店 本館 5 階センターパークにおいて、「TENDO IN JAPANESE MODERN」と題した販売企画を開催いたします。

当企画では、日本の近代インテリアデザインを切り拓いた剣持勇が提唱した「ジャパニーズモダン」をテーマに、天童木工のロングセラーアイテムが会場を彩ります。今企画の限定アイテムとして、剣持デザイン研究所監修のもと、かつての名作デスクのリバイバル製作を実現。ヴィンテージにはない輝きは、その価値を育てる喜びを与えてくれます。また、昨年夏に開催した「SHAPE OF TENDO ーかたちにする。ー」の中で限定販売されたサカナクションの山口一郎氏監修による『YIスツール』の黒色バージョンも登場します。

会期について

店頭販売

日時：2025 年 2 月 19 日（水）～ 2 月 25 日（火）

会場：伊勢丹新宿店 本館 5 階 センターパーク / ステージ #5

三越伊勢丹オンラインストア販売

<https://www.mistore.jp/shopping>

日時：2025 年 2 月 19 日（水）午前 10 時～ 3 月 18 日（火）午後 11 時 59 分

※本企画の限定アイテムのみ

■ デスク Revival Edition: Isamu Kenmochi Design (当企画限定アイテム・限定5台)

サカナクション・山口一郎氏の想いに応えてリバイバル製作を実現



1960年代、剣持勇がある国際組織の執務室のためにデザインしたデスク。

装飾を極力排した直線的で合理的なフォルムは、当時のモダニズムムーブメントを想起させます。1967年に規格品として発売された後も、国家機関や民間企業の重役室など広く採用され、重厚かつ権威ある空間づくりの中心的存在でした。

今回、サカナクション・山口一郎氏の想いに応えるかたちで、リバイバル製作に着手。ジャパニーズモダンに強く惹かれる山口氏が長年探し求めていた家具のひとつで、彼にとって“発見”すること自体がひとつの夢でした。

当時の仕様再現に加え、上質な使い心地のために引出しにはソフトクローズなども取り入れています。材料には個性豊かな木目を持つ銘木カリビアンパーシモンを採用。鮮やかな茶褐色の地に黒色の木目が入り、荒々しさの中にも気品が感じられます。シンプルかつ威厳のあるデザインは、高度経済成長の真っ只中において、多くの特別室を手がけた剣持勇の感性の結晶と言えるかもしれません。



カリビアンパーシモンの美しい木目



1967年当時の納入写真



デスク Revival Edition: Isamu Kenmochi Design

税込 1,485,000円

表面材：カリビアンパーシモン

W2000 D850 H700 (mm)

デザイン：剣持 勇

※限定5台

この度の、『デスク Revival Edition: Isamu Kenmochi Design』のリバイバル製作に際して、山口一郎氏よりコメントをいただきました。

「デスク」リバイバルへの想い

新しさを感じる時、なぜか同時に懐かしさが僕に覆い被さってきます。
その「懐かしさ」を探究し、その根本となるプロダクトを見つけた時、いつも絶望するのです。
「もう手に入らないんだなあ」と。

音楽であれば、またそれを聴くことができます。
レコードや、インターネットで。
だが物はそうはいかない。
実際に手に入れなければ、使えないからだ。

使わなければ、部屋にそれを置いてみなければ、そのプロダクトを知ったことにならない。

天童木工の歴史上、幾多と生まれてきた名作。
今は当時のカタログの中でしか知ることができない家具たち。

それを今の<天童木工>の技術や感覚でリプロダクトし、僕らの空間へ戻したい。

それによって、オリジナルのプロダクトの素晴らしさ、天童木工の歴史、
デザイナーのルーツをもっと知ることができると、そう思っちゃったんです。

今回、天童木工、剣持デザイン研究所の協力とご理解を得て、
この企画を実現することができました。

ほかにもこの時代に戻してみたい作品がたくさんあります。
どうかそれも実現しますように。

サカナクション
山口 一郎



■ YIスツール・ブラック（当企画限定アイテム）

山口一郎氏の世界感を色濃く表現した黒の『YIスツール』が登場



昨年、サカナクションの山口一郎氏と天童木工のコラボレーションによって誕生した『YIスツール』。今回、新たに“黒”の『YIスツール』が登場します。

当初、山口氏が「自分用に欲しい」と希望したカラーリングだったものを、ぜひ販売させて欲しいと当社からリクエストしたことで企画が実現しました。

この“黒”は完全な塗りつぶしでなく、僅かに木目を感じられる“黒”であることがポイントです。『YIスツール』の特徴である“コマ入れ成形”の「I型のコマ」の存在感も感じられるように仕上げています。“黒”のカラーリングに合わせ、天童木工と山口一郎氏とのコラボレーションを示す「YI天童木工」のエンブレムも墨黒に近い黒色で表現しました。これは、100年以上経過した真鍮の経年変化をイメージしたものです。座面は、キャンバスとレザーの2種類をラインナップ。「yamaichi(YI)」と天童木工のこだわりを感じながら、ぜひ暮らしのそばでご使用いただきたい一品です。



「YI 天童木工」コラボエンブレム



「I型のコマ」部分のアップ



打合せの様子



YIスツール・ブラック(キャンバス)
Limited Edition by Ichiro Yamaguchi
税込 149,600円
木部(表面材)：チーク
木部(成形合板)：ホワイトビーチ・チーク
張地：キャンバス(黒)
W430 D402 H416 (mm)
※「YI×天童木工」コラボエンブレム付



YIスツール・ブラック(レザー)
Limited Edition by Ichiro Yamaguchi
税込 198,000円
木部(表面材)：チーク
木部(成形合板)：ホワイトビーチ・チーク
張地：レザー(黒)
W430 D402 H416 (mm)
※「YI×天童木工」コラボエンブレム付

■ スポークチェア・ブラック×KVADRAT /RAF SIMONS（当企画限定アイテム）

より洗練された印象が際立つ、スポークチェアの新たな姿



剣持勇と共にブルーノ・タウトに師事し、共に日本のデザインの礎を築いてきたデザイナー・豊口克平の代表作「スポークチェア」の特別仕様を販売します。

人の身体的な特徴や行為を研究し、日本人が使いやすいデザインを追求した豊口が集大成として発表した椅子が「スポークチェア」でした。イギリスのウィンザーチェアをベースに、そのエッセンスは日本の暮らしに融合し、現在ではジャパニーズモダンを象徴するプロダクトのひとつに数えられます。

黒色に仕上げることで、モダンデザインとしての特徴を際立たせています。座面にはデンマークを代表する張地ブランド<KVADRAT / クヴァドラ>と<RAF SIMONS / ラフ・シモンズ>のコラボレーションによる<クヴァドラ/ ラフ・シモンズ>のテキスタイルから「Vanir」と「Sonar3」を採用。

発表から60年の歳月を経たスポークチェアに、現代的な価値を落とし込んだ新たな世界観をご覧ください。



Vanir (0773)

美しい仕立てを感じさせる Vanir は伝統的なウール素材のミリタリーコートにインスピレーションを得て精密な技法で作られた、緻密でありながら柔らかな質感のテキスタイルです。ブークレ糸の独特の色の変化がバランスよく浮かび上がり、刈りこまれた滑らかで贅沢な質感が独特の上品さを添えています。Vanir は伝統的なファッションテキスタイルが持つ繊細な色彩やテクスチャーを家具用ファブリックで表現するという Raf Simons の情熱から誕生しました。

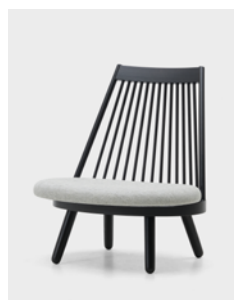


Sonar 3 (0134)

ファッション界の高級スーツなどで使用されるツイードを発想の源とする Sonar 3 は、複雑で洗練された色と触覚が融合されたテキスタイルです。3種類のトーンを中心に、対照的なカラーを織り交ぜることで、全体的に繊細で上品な色彩に仕上がりました。



スポークチェア・ブラック
Textile by KVADRAT RAF SIMONS (Vanir)
税込 214,500円
木部(無垢材)：ナラ
木部(成形合板)：ナラ・ホワイトビーチ
W810 D687 H830 SH340 (mm)
デザイン：豊口克平



スポークチェア・ブラック
Textile by KVADRAT RAF SIMONS (Sonar3)
税込 231,000円
木部(無垢材)：ナラ
木部(成形合板)：ナラ・ホワイトビーチ
W810 D687 H830 SH340 (mm)
デザイン：豊口克平

■ 天童木工とジャパニーズモダン ―天童木工が生み出してきた家具たち―

本企画では、『デスク Revival Edition: Isamu Kenmochi Design』や、“黒”の『YI スツール』のほかにもジャパニーズモダンを彩る家具が登場します。

1950年代、日本の近代インテリアデザインを切り拓いた剣持勇はデザイン理念としての『ジャパニーズモダン』を掲げ、日本の文化・伝統・生活様式とモダニズムを結びつけた新たな価値を見出しました。

剣持勇と天童木工は、多くのプロジェクトを共に手がけ、深い信頼関係を築いてきました。剣持からの難しい要求に応える中で、職人たちは挑戦を重ね、彼の理念を具現化する重要なパートナーとして数多くのプロダクトを世に送り出してきたのです。かつての豊かな暮らしに向けて進歩を求めたモダニズム黎明の時代から、現在も変わらない想いと技術で紡ぎ続けてきた家具の数々とその心地よさを是非会場でお確かめください。



左から、「Haco イージーチェア」、「柏戸イス」、「チェントロ イージーチェア」

「TENDO IN JAPANESE MODERN」特設ページ

https://www.mistore.jp/shopping/feature/living_art_f2/furniture41_l.html



「TENDO IN JAPANESE MODERN」スタッフ

クリエイティブディレクター・会場設計 / 南木 隆助

アートディレクター(キービジュアル)/ 高橋 万実子

イラスト(キービジュアル)/ 古川 温

製品デザイン / 松橋 孝之(天童木工)

プロデューサー・広報 / 加藤 直樹(天童木工)

リバイバル協力 / 剣持デザイン研究所

■お問い合わせ先

株式会社 天童木工
広報担当 加藤 直樹
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-19-2
TEL : 03-3432-0557 E-mail : kato.n@tendo-mokko.co.jp
URL : <http://www.tendo-mokko.co.jp/>

本社・工場
〒994-8601 山形県天童市乱川 1-3-10
TEL : 0120-01-3121